

## 2018年度 愛知大学大学院 学生募集要項

### 1. 入学定員

| 研究科            | 専攻            | 募集人員<br>博士前期課程(修士課程) | 開講校舎 |
|----------------|---------------|----------------------|------|
| 国際コミュニケーション研究科 | 国際コミュニケーション専攻 | 15名                  | 名古屋  |

### 2. 出願資格

#### 修士課程

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 大学に3年以上在学した者（大学とは、我が国の学校教育法第83条に定める大学（修業年限が4年以上の大学）をいう。これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、本大学院の各研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得した者と認める者
- (10) 本大学院の各研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018（平成30）年3月31日までに22歳に達するもの

前記出願資格のほか、別途出願資格を必要とする入学試験は次のとおり。

- (1) 社会人特別入学試験
- (2) 推薦入学試験
- (3) 外国人留学生入学試験（国内入試・国外入試）
- (4) 飛び入学試験
- (5) 外国協定校留学生入学試験

※外国人留学生入学試験（国外入試）を出願する者は、日本国籍（重国籍を含む）を保有しない者で、現在日本に居住していない者であること。

### 3. 出願期間（最終日消印有効）及び試験日程試験について

#### 修士課程

| 入試種別           | 第1期                         |          |          |
|----------------|-----------------------------|----------|----------|
|                | 出願期間                        | 試験日      | 合格発表日    |
| 外国人留学生入学試験(国外) | 5月29日(月)～6月8日(木)<br>最終日消印有効 | 6月26日(月) | 6月30日(金) |

### 4. 試験について

試験や面接のために渡日する必要はなく、出願書類に基づき審査（判定）を行う。なお、必要に応じて出身学校や推薦者等に問い合わせるほか、出願書類の内容について説明を求める。また、場合によってはスカイプ等の遠隔機器による面接を行う。

### 5. 出願書類

| 書 類           | 備 考   |
|---------------|---|
| 入学志願書         | <様式A>   |
| 入学志願者調書       | <様式B>   |
| 研究計画書         | <様式C><br>1,200程度（英語で作成する場合は、600words）。電子機器等で作成し、別紙に貼付する形式でもよい。        |
| 日本語能力認定書      | <様式D>   |
| 留学にかかる経費負担計画書 | <様式E>   |
| 推薦書           | <様式F>   |
| 日本語能力試験成績通知書  | 独立行政法人国際交流基金、公益財団法人日本国際教育支援基金が実施する、「日本語能力試験」の成績通知書を提出すること。（写しでも可）     |
| 成績証明書         | 大学及び大学院で発行したもの。   |
| 卒業（見込）証明書     | ※日本以外の大学・大学院を卒業（修了）した場合は、左記証明書のほかに、「取得学位が明記されている証明書（学位証明書など）」を提出すること。 |
| 戸籍抄本等         | 証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ提出すること。<br>※氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。         |

### 6. 出願方法・場所

上記5の出願書類を揃え、国際スピード郵便（EMS）で郵送すること。  
出願書類の提出先は、次のとおり。

〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町四丁目 60-6  
愛知大学大学院事務課 大学院入試係  
電話 052-564-6125

## 7. 入学検定料

### 35,000円(日本円で支払い、各種手数料(円為替、振込手数料等)は志願者本人の負担とする。)

- (1) 入学検定料は、下記の口座に出願者本人の名義にて銀行振込をすること。  
振込先：三菱東京UFJ銀行 名古屋駅前支店(銀行コード：005 店番号：221)  
日本国愛知県名古屋市中村区名駅三丁目28-12 大名古屋ビルヂング4階  
預金種別：普通預金  
口座番号：169082  
口座名義：学校法人愛知大学  
※支払処理後、本人保管用の受領証を大学院事務課(FAX:052-564-6125)へFAXすること。
- (2) 「振込受付証明書」は、入学志願書添付の所定欄にのり付けすること。  
※一旦入金処理がなされた入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。

## 8. 入学手続き・在留資格

### (1) 入学手続き方法

合格発表後、別途通知する。合格者は提出書類に学納金振込証明書を添え所定の期間内に手続きをすること。指定期日までに入学手続きを完了しない場合には、入学の意思がないものとみなす。

| 受験区分              | 第1次手続期限       | 第2次手続期限      |
|-------------------|---------------|--------------|
| ・外国人留学生入学試験(国外)入試 | 2017年9月29日(金) | 2018年3月9日(金) |

### (2) 提出書類

入学手続きカード、誓約書・在学保証書、学生証用写真票(学生証用写真票にはカラー1枚、縦3×横2.4cmの写真を貼付し提出すること)など。

### (3) 在留資格(査証の取得)について

本学入学により得られる在留資格は「留学」である。「在留資格認定証明書」取得のため、本学が入国管理局へ代理申請を行う。なお、申請から交付まで、通常2カ月前後程度を要する。

入国管理局より「在留資格認定証明書不交付」通知を受けた場合、あるいは、査証(ビザ)が発給されなかった場合、入学は自動的に取り消しとなる。

第2次手続き前に入学取り消しとなった場合は入学金を返還する。第2次手続き後から2018年3月31日までに入学取り消しとなった場合、また入学を辞退する場合は学納金のうち入学金を除いた金額を返還する。

## 9. 学納金等

2018年度入学生

| 種別             | 課程別 | 修士課程                    |
|----------------|-----|-------------------------|
|                |     | 初年度納入金                  |
| 入学金<br>(入学時のみ) |     | 200,000円                |
| 授業料(年額)        |     | 610,000円<br>(427,700円)※ |
| 教育充実費(年額)      |     | 210,000円                |
| 学友会費           |     | 4,000円                  |

※私費外国人留学生の場合、授業料減免制度がある。適用後はカッコ内の金額となる。

※授業料及び教育充実費については、それぞれ春学期と秋学期に分けて年額の2分の1ずつの納入である。

※上記とは別に、委託徴収金として、2年次秋学期に同窓会費(28,000円)を別途徴収する。

※2年次以降の授業料は、年額10,000円ずつ増額となる。

# 愛知大学大学院 3つのポリシー

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

## 国際コミュニケーション研究科

### 国際コミュニケーション専攻

#### 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

国際コミュニケーション研究科修士課程では、国際的にも国内的にもグローバル化が進行し、同時にローカルな視点も求められる現代の状況にあって、そのなかで活躍できる人材の育成を目指します。こうした観点から国際コミュニケーション研究科で求める学生像はつぎの通りです。

- (1) 英語文献学、英語学、英語教育について研究し、それらの専門的な能力を活かした仕事に携わりたいと考えている人。
- (2) 日本語、日本語教育について研究し、それらの専門的な能力を活かした仕事に携わりたいと考えている人。
- (3) 社会科学的思考に関心があり、国際関係の仕事に就きたいと考えている人。
- (4) 国際商取引、商事仲裁など国際ビジネスに関心をもっている人。
- (5) 異文化、多文化共生、国際コミュニケーションについて関心がある人。

#### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

国際コミュニケーション研究科修士課程では、国際的にも国内的にもグローバル化が進行し、同時にローカルな視点も求められる現代の状況にあって、そのなかで活躍できる人材の育成をめざします。その方法として、次の3領域を有機的に連関させた教育を行います。第1は、英語と日本語に関する専門知識と運用能力に重点を置いた言語コミュニケーション研究。第2は、国際関係分野での国際関係論、国際ビジネスと異文化理解に関する研究。第3は、文化人類学・民俗学の視点を取り入れた多文化間比較研究です。学生は3領域のいずれかに所属して専門的な研究を行うとともに、他の2領域にも関りながら幅広い研究をめざします。

- (1) 各専攻領域に関する専門的な知識を獲得し、主体的な研究態度が養えるよう、豊富かつ系統的な授業科目を設置します。
- (2) 各専攻領域における専門性を深めるとともに、他領域の研究と有機的に関る研究がなし得るよう、全領域研究の共通基盤としての必修科目を設置します。
- (3) 他領域の研究と有機的に関る研究がなし得るよう、主研究領域以外の2領域からそれぞれ1科目（合計2科目4単位）を修得することを義務づけます。
- (4) 各専攻領域において自由かつ系統的な研究・教育を可能とする複数教員指導体制を採用します。
- (5) 現場体験を通して視野の広い見識が得られるよう、フィールド・ワーク科目を設置します。

#### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

国際コミュニケーション研究科修士課程では、学生は、専攻領域に関する高度な専門知識を有し、豊かな国際感覚を備え、自ら課題を探求し、それを論理的に分析・解決する能力をもつことが期待されます。2年以上在学し、愛知大学大学院学則に定められた修了に必要な単位数および専攻別の履修要件をすべて満たしたうえで、総計32単位以上を修得した学生に対して修了判定を行い、学位を授与します。必須の修士論文では、執筆された論文にたいして、厳格な論文審査と口頭試問による審査を行うことで、専攻領域・テーマについての深い知識・理解と主張の独創性を備えているかを確認します。

## ◇ 国際コミュニケーション研究科の概要

### (1) 研究科の概要

専攻・沿革など：本研究科には、国際コミュニケーション専攻修士課程が置かれている。  
2002(平成14)年に設置され、今までの修士課程の修了者は77名である。  
学位：2年以上在学し修了すると修士(国際コミュニケーション)の学位が授与される。

### (2) 国際コミュニケーション専攻、授業科目・担当者及び履修方法

#### 修士課程

(2018年度予定)

| 授 業 科 目  |                   | 単位数         | 担 当 者       |                   |
|--|-------------------|-------------|-------------|-------------------|
| 必<br>修   | 国際コミュニケーション研究方法論  | 4           | 教 授 田本 健一   | 博士(文学)            |
|  |                   |             | 教 授 鈴木 規夫   | 博士(政治学)           |
|  |                   |             | 教 授 高橋 貴    |                   |
|  |                   |             | 教 授 片 茂永    | 博士(文学)            |
| A<br>言<br>語<br>コ<br>ミ<br>ュ<br>ニ<br>ケ<br>ー<br>シ<br>ョ<br>ン<br>研<br>究<br>領<br>域 | 英語学研究Ⅰa           | 2           | 教 授 ○ 田本 健一 | 博士(文学)            |
|  | 英語学研究Ⅰb           | 2           | 教 授 ○ 田本 健一 |                   |
|  | 英語学研究Ⅱa           | 2           | 教 授 ○ 塚本 倫久 |                   |
|  | 英語学研究Ⅱb           | 2           | 教 授 ○ 塚本 倫久 |                   |
|  | 英語学研究演習 a         | 2           | 演習担当者は○印の教員 |                   |
|  | 英語学研究演習 b         | 2           | 演習担当者は○印の教員 |                   |
|  | 英語コミュニケーション研究Ⅰa   | 2           |             |                   |
|  | 英語コミュニケーション研究Ⅰb   | 2           |             |                   |
|  | 英語コミュニケーション研究Ⅱa   | 2           |             |                   |
|  | 英語コミュニケーション研究Ⅱb   | 2           |             |                   |
|  | 英語コミュニケーション研究Ⅲa   | 2           | 教 授 川端 朋広   |                   |
|  | 英語コミュニケーション研究Ⅲb   | 2           | 教 授 川端 朋広   |                   |
|  | 英語コミュニケーション研究Ⅳa   | 2           | 教 授 北尾 泰幸   | 博士(言語文化学)         |
|  | 英語コミュニケーション研究Ⅳb   | 2           | 教 授 北尾 泰幸   |                   |
|  | 英語コミュニケーション研究演習 a | 2           | 演習担当者は○印の教員 |                   |
|  | 英語コミュニケーション研究演習 b | 2           | 演習担当者は○印の教員 |                   |
|  | 英語教育学研究Ⅰa         | 2           | 准教授 磯野 徹    | Ph. D.<br>(言語学)   |
|  | 英語教育学研究Ⅰb         | 2           | 准教授 磯野 徹    |                   |
|  | 英語教育学研究Ⅱa         | 2           | 教 授 ○ 塚本 鋭司 | Ph. D.<br>(教育社会学) |
|  | 英語教育学研究Ⅱb         | 2           | 教 授 ○ 塚本 鋭司 |                   |
|  | 英語教育学研究Ⅲa         | 2           | 准教授 小坂 敦子   | Ph. D.<br>(教育学)   |
|  | 英語教育学研究Ⅲb         | 2           | 准教授 小坂 敦子   |                   |
|  | 英語教育学研究演習 a       | 2           | 演習担当者は○印の教員 |                   |
|  | 英語教育学研究演習 b       | 2           | 演習担当者は○印の教員 |                   |
|  | 英語圏文化研究Ⅰa         | 2           |             |                   |
|  | 英語圏文化研究Ⅰb         | 2           |             |                   |
|  | 英語圏文化研究Ⅱa         | 2           |             |                   |
|  | 英語圏文化研究Ⅱb         | 2           |             |                   |
|  | 英語圏文化研究Ⅲ          | 2           |             |                   |
|  | 英語文化圏研究演習 a       | 2           |             |                   |
|  | 英語文化圏研究演習 b       | 2           |             |                   |
|  | 言語文化研究            | 2           |             |                   |
| 日本語学研究Ⅰa   | 2                 | 教 授 ○ 山本 雅子 | 博士(人間・環境学)  |                   |
| 日本語学研究Ⅰb   | 2                 | 教 授 ○ 山本 雅子 |             |                   |

|                      |                  |             |              |                   |
|----------------------|------------------|-------------|--------------|-------------------|
| A<br>言語コミュニケーション研究領域 | 日本語学研究Ⅱ a        | 2           |              |                   |
|                      | 日本語学研究Ⅱ b        | 2           |              |                   |
|                      | 日本語学研究演習 a       | 2           | 演習担当者は○印の教員  |                   |
|                      | 日本語学研究演習 b       | 2           | 演習担当者は○印の教員  |                   |
|                      | 日本語コミュニケーション研究 a | 2           |              |                   |
|                      | 日本語コミュニケーション研究 b | 2           |              |                   |
|                      | 日本語教育学研究 a       | 2           | 教授 ○ 梅田 康子   |                   |
|                      | 日本語教育学研究 b       | 2           | 教授 ○ 梅田 康子   |                   |
|                      | 日本語教育学研究演習 a     | 2           | 演習担当者は○印の教員  |                   |
|                      | 日本語教育学研究演習 b     | 2           | 演習担当者は○印の教員  |                   |
|                      | 日英対照言語研究 a       | 2           |              |                   |
|                      | 日英対照言語研究 b       | 2           |              |                   |
|                      | 日中対照言語研究 a       | 2           |              |                   |
|                      | 日中対照言語研究 b       | 2           |              |                   |
|                      | 言語学特殊講義 a(一般言語学) | 2           | 准教授 清水 伸子    |                   |
|                      | 言語学特殊講義 b(一般言語学) | 2           | 准教授 清水 伸子    |                   |
|                      | 日本語教授法Ⅰ          | 2           |              |                   |
|                      | 日本語教授法Ⅱ          | 2           |              |                   |
|                      | 音声学 a            | 2           | 講師 鹿島 央      | Ph. D.            |
|                      | 音声学 b            | 2           | 講師 鹿島 央      |                   |
| 日本語論文技術 a            | 1                |             |              |                   |
| 日本語論文技術 b            | 1                |             |              |                   |
| B<br>国際関係研究領域        | 国際関係研究Ⅰ a        | 2           | 教授 ○ 鈴木 規夫   | 博士(政治学)           |
|                      | 国際関係研究Ⅰ b        | 2           | 教授 ○ 鈴木 規夫   |                   |
|                      | 国際関係研究Ⅱ a        | 2           | 教授 ○ 名和 聖高   |                   |
|                      | 国際関係研究Ⅱ b        | 2           | 教授 ○ 名和 聖高   |                   |
|                      | 国際関係研究Ⅲ a        | 2           |              |                   |
|                      | 国際関係研究Ⅲ b        | 2           |              |                   |
|                      | 国際関係研究Ⅳ a        | 2           |              |                   |
|                      | 国際関係研究Ⅳ b        | 2           |              |                   |
|                      | 国際関係研究演習 a       | 2           | 演習担当者は○印の教員  |                   |
|                      | 国際関係研究演習 b       | 2           | 演習担当者は○印の教員  |                   |
| C<br>多文化間比較研究領域      | 多文化間比較研究Ⅰ a      | 2           |              | Ph. D. (Folklore) |
|                      | 多文化間比較研究Ⅰ b      | 2           |              |                   |
|                      | 多文化間比較研究Ⅱ a      | 2           | 教授 高原 隆      | 博士(文学)            |
|                      | 多文化間比較研究Ⅱ b      | 2           | 教授 高原 隆      |                   |
|                      | 多文化間比較研究Ⅲ a      | 2           | 教授 片 茂永      | 博士(文学)            |
|                      | 多文化間比較研究Ⅲ b      | 2           | 教授 片 茂永      |                   |
|                      | 多文化間比較研究Ⅳ a      | 2           | 教授 高橋 貴      |                   |
|                      | 多文化間比較研究Ⅳ b      | 2           | 教授 高橋 貴      |                   |
|                      | 多文化間比較研究Ⅴ a      | 2           | 教授 ○ 加納 寛    | 博士(歴史学)           |
|                      | 多文化間比較研究Ⅴ b      | 2           | 教授 ○ 加納 寛    |                   |
|                      | 多文化間比較研究Ⅵ a      | 2           | 准教授 ○ 岩田 晋典  |                   |
|                      | 多文化間比較研究Ⅵ b      | 2           | 准教授 ○ 岩田 晋典  |                   |
|                      | 多文化間比較研究Ⅶ a      | 2           | 教授 タブレロ ハビエル | Ph. D             |
|                      | 多文化間比較研究Ⅶ b      | 2           | 教授 タブレロ ハビエル |                   |
|                      | 多文化間比較研究演習 a     | 2           | 演習担当者は○印の教員  |                   |
| 多文化間比較研究演習 b         | 2                | 演習担当者は○印の教員 |              |                   |

|        |                  |         |          |                   |
|--------|------------------|---------|----------|-------------------|
| 特講・その他 | 国際コミュニケーション研究特講Ⅰ | 2       |          |                   |
|        | 国際コミュニケーション研究特講Ⅱ | 2       |          |                   |
|        | 国際コミュニケーション研究特講Ⅲ | 2       |          |                   |
|        | フィールド・ワーク        | 2       | 教授 鈴木 規夫 | 博士(政治学)           |
|        |                  |         | 教授 名和 聖高 |                   |
|        |                  |         | 教授 高原 隆  | Ph. D. (Folklore) |
|        |                  |         | 教授 片 茂永  | 博士(文学)            |
|        |                  | 教授 高橋 貴 |          |                   |
|        |                  | 教授 加納 寛 | 博士(歴史学)  |                   |

### ● 履修方法

- ① 学生は2年以上在学し、以下の履修方法に従って32単位以上を修得しなければならない。
- ② 必修科目  
国際コミュニケーション研究方法論(4単位)
- ③ 専修科目、指導教授
  - (a) 演習のある授業科目のうちから、一授業科目(講義2科目)4単位、演習8単位(合計12単位)を選定し、これをその学生の「専修科目」とする。  
具体的には、講義は同一授業科目名のa、b各2単位を、演習は授業科目名と同じ演習名のもの履修する。
  - (b) 演習は毎年4単位を、2年にわたって履修する。
  - (c) 専修科目を担当する教授を「指導教授」とし、授業科目の選択や研究一般について指導を受ける。なお、研究上必要があるときは、別に定めるところに従って「副指導教授」を選ぶことができる。この場合には、「指導教授」を「主指導教授」とする。
- ④ 選択必修科目  
研究領域A、B及びCのうち、専修した領域以外の各領域の授業科目から、それぞれ1科目(合計2科目4単位)を履修する。
- ⑤ 選択科目  
全授業科目のうちから、6科目(合計12単位)を履修する。  
ただし、2科目(合計8単位)については、他研究科講義科目の中から選択履修することができる。この場合は当該授業科目の担当教員の承認を得なければならない。
- ⑥ 修得単位  
修得すべき単位は次のとおり。  
必修科目 4単位 (国際コミュニケーション研究方法論)  
専修科目 12単位 (講義2科目4単位、演習8単位)  
選択必修科目 4単位 (講義2科目4単位)  
選択科目 12単位 (講義12単位)
- ⑦ 優れた業績をあげた者の修業年限及び専修科目の必要単位については、別に扱う。

### (3) 取得できる教員免許状

すでに中学校教諭1種免許状、または高等学校教諭1種免許状を授与された者(授与のための所要資格を取得した者も含む。)は、本大学院において、博士前期課程(修士課程)を修了(1年以上在学し、所定の「教科に関する科目(24単位)」を修得すれば、次の専修免許状を取得できる。

| 課程を置く研究科・専攻    | 免許状の種類        |                |
|----------------|---------------|----------------|
| 研究科            | 中学校教諭専修免許状の教科 | 高等学校教諭専修免許状の教科 |
| 国際コミュニケーション研究科 | 社会・外国語(英語)    | 地理歴史・外国語(英語)   |

〈 様式A 〉 入学志願書  
Form 2018

愛知大学大学院国際コミュニケーション研究科修士課程

2018 APPLICATION FOR ADMISSION TO THE DEPARTMENT OF INTERNATIONAL COMMUNICATION,  
MA COURSEGRADUATE SCHOOL OF AICHI

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| ※受験番号 | 9月    |  |
|       | 7・12月 |  |
| ※学籍番号 | 2月    |  |
|       |       |  |

I. 志願者 (Applicant)

※印欄は記入不要

※Not to be filled out by applicant

フリガナ

1. 氏名

Full Name:

(Family Name) (Given Name) (Middle Name)

ローマ字

(Phonetic roman alphabet spelling for names using Chinese character)

2. 国籍

Nationality:

出生地

Place of Birth:

3. 生年月日

Date of Birth: 19 年 月 日

年齢

(2017. 4. 1現在)

Age:

as of 2017. 4. 1

4. 性別

男

女

Gender

Male

Female

5. 現住所

Present Address:

郵便番号

電話(自宅)

電話(職場)

Postal Code:

Telephone (Home):

Telephone (Work):

ファックス

Fax:

E-mail:

写真

上半身脱帽正面  
最近撮影のもの  
(4cm×3cm)

Photo, 4cm×3cm  
recently taken, half-

II. 受験(試験)区分 (Classification of Examination)

何れかにレ点をつけてください。

Please check (レ) the appropriate box.

|   |   |  |
|---|---|--|
| 受験(試験)区分<br>Classification of Examination | <input type="checkbox"/> A 一般入学試験<br>General Entrance Examination   | <input type="checkbox"/> D 外国協定校留学生入学試験<br>Examination for Students Studying at Overseas Universities Linked with Aichi University |
|   | <input type="checkbox"/> B 飛び入学試験<br>Entrance Examination for Students Skipping the Fourth Year (Also for Foreign Students) | <input type="checkbox"/> E 社会人特別入学試験<br>Examination Open to the General Public   |
|   | <input type="checkbox"/> C-1 外国人留学生入学試験<br>Examination for Foreign Students   | <input type="checkbox"/> F 推薦入学試験<br>Recommendation Entrance Examination   |
|   | <input type="checkbox"/> C-2 外国人留学生入学試験<br>Examination for Foreign Students   | 国内受験<br>Examination in Japan   |

|  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| 試験区分<br>Classification of Examination  | 受験外国語<br>Preferred Language            |  |   |
| A 一般入学試験<br>General Entrance Examination   | <input type="checkbox"/> 英語<br>English | <input type="checkbox"/> 中国語<br>Chinese  |   |
| B 飛び入学試験<br>Entrance Examination for Students Skipping the Fourth Year (Also for Foreign Students) | <input type="checkbox"/> 英語<br>English | <input type="checkbox"/> 日本語<br>Japanese | <input type="checkbox"/> 中国語<br>Chinese |
| C-1 外国人留学生入学試験<br>Examination for Foreign Students   | <input type="checkbox"/> 英語<br>English | <input type="checkbox"/> 日本語<br>Japanese |   |

III. 志望研究領域及び指導教授 (Desired Project Research)

何れかにレ点をつけてください。

Please check (レ) the appropriate box.

|   |   |  |
|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> 言語コミュニケーション研究<br>The Field of Language Communication | <input type="checkbox"/> 国際関係研究<br>The Field of International Relations | <input type="checkbox"/> 多文化間比較研究<br>The Field of Comparative Cultures |
|---|---|--|

指導教授について希望がある場合は、記入してください。

Write a professor's name who can be your academic supervisor.



|       |       |  |
|-------|-------|--|
| ※受験番号 | 9月    |  |
|       | 7・12月 |  |
|       | 2月    |  |

# 入学志願者調書

Background information on Applicant

※印欄は記入不要

Not to be filled out by applicant

氏名

Full name: \_\_\_\_\_

## I. 学歴 (Educational background)

小学校から始めて、通学したすべての学校を年代順に記入する。  
大学・大学院については、学部・研究科名を明記し、学科・専攻名等も記入してください。

List, in chronological order, all the schools you attended starting with primary school.  
As for higher education, state details such as 'undergraduate' / 'graduate' and 'department' / 'major.'

|                           |             | 学校名・学部<br>School/Department/Major | 所在地<br>Location | 在学期間<br>Period of Attendance              |
|---------------------------|-------------|-----------------------------------|-----------------|---|
| 小学校<br>Primary            |             |                                   |                 | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |
| 中学校<br>Secondary          | Junior High |                                   |                 | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |
|                           | Senior High |                                   |                 | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |
| 専門学校<br>Vocational School |             |                                   |                 | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |
| 大学<br>University          |             |                                   |                 | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |
|                           |             |                                   |                 | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |

|  |                   |                    |
|--|-------------------|--------------------|
| 小学校から大学卒業までの通算期間<br>Total duration of school from primary school to university | 年 月<br>year month | ※中国人留学生のみ 高考_____点 |
|--|-------------------|--------------------|

## II. 日本語学習歴および能力 (Duration of Japanese language studies and proficiency level)

日本語が母語である方は記入の必要がありません。

This need not be filled out by applicants whose native language is Japanese.

| 学校名<br>School | 所在地<br>Location | 在学期間<br>Period of Attendance              |
|---------------|-----------------|---|
|               |                 | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |
|               |                 | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |
|               |                 | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |

日本語能力試験 (N1) (Level N1 of the "Japanese Language Proficiency Test")

受験日 (Test date)

スコア (Score)

日本語能力試験N1 (Level N1): \_\_\_\_\_

180

### III . 職 歴 (Vocational experience)

| 勤務先名<br>Employer | 勤務場所<br>Location | 勤務期間<br>Duration of Employment            |
|------------------|------------------|---|
|                  |                  | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |
|                  |                  | 年 月～ 年 月<br>from year month to year month |

### IV . 現 職 (Present Occupation)

職業 (Occupation)       無(Unemployed)     有(Employed)     学生(Student)

現職名(Present Occupation) \_\_\_\_\_

現在在籍している学校名・会社名  
(Name of Institution/School)

学生の場合は卒業・修了見込年度も記入  
(Expected date of graduation if you are a student.)  
年 (Year)          月 (Month)

### V . 在 留 資 格 (Visa Status)    C-2. 国外受験による志願者は記入不要

日本国籍以外の方のみ記入(For non-Japanese Applicants)  
在留資格(Visa Status)          \_\_\_\_\_          ヵ月(months)  
在留期間有効期限(Date of Expiration of Visa)  
   年                          月                          日  
   Year                          Month                          Day

### VI . 日本在住連絡人 (Contact Person in Japan)

無     有  
None    Yes

氏 名  
Full Name

姓(Family Name)          名(Given Name)          (Middle Name)

志願者との関係  
Relationship to Applicant

郵便番号  
Postal Code

現住所  
Present Address

電 話  
Telephone

ファックス  
Fax

職 業  
Occupation in detail

電 話  
Telephone (Work)

ファックス  
Fax (Work)

E-mail

上記に記載した内容および申請書類はすべて正確であり、また、入学が許可された場合には愛知大学の規則に従うことを誓います。

I certify that all the information provided on this form and in the accompanying documents is complete and accurate to the best of my knowledge, and, if admitted, I agree to comply with the rules and regulations of Aichi University.

日付  
Date    年    月    日  
Year    Month    Day

署名/捺印  
Signature/ Seal

印  
(Japanese name seal)





800  
(a)



1200  
(b)

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| ※受験番号 | 9月    |  |
|       | 7・12月 |  |
|       | 2月    |  |

※印欄は記入不要  
Not to be filled out by applicant

# 日本語能力認定書

## PROFICIENCY IN JAPANESE

氏名  
Full name: \_\_\_\_\_

現住所  
Present address: \_\_\_\_\_

指導教員、日本政府在外公務員または認定書作成に相当と思われた方に記入、  
厳封を依頼し、提出してください。

This report should be completed one of the following: an instructor in Japanese, a diplomatic or consular official of the Japanese government, or other qualified person. And this should be sealed tightly to submit.

| 能力<br>Proficiency<br>言語<br>Language | 読解力<br>Reading ability |           |            | 筆記力<br>Writing ability |           |            | 聴解力<br>Hearing ability |           |            | 会話力<br>Speaking ability |           |            |
|-------------------------------------|------------------------|-----------|------------|------------------------|-----------|------------|------------------------|-----------|------------|-------------------------|-----------|------------|
|                                     | 良<br>Good              | 可<br>Fair | 不可<br>Poor | 良<br>Good              | 可<br>Fair | 不可<br>Poor | 良<br>Good              | 可<br>Fair | 不可<br>Poor | 良<br>Good               | 可<br>Fair | 不可<br>Poor |
| 日本語<br>Japanese                     |                        |           |            |                        |           |            |                        |           |            |                         |           |            |

### 特記事項

Any other remarks:  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

氏名  
Full name: \_\_\_\_\_

所属機関および職位名  
Name of Institution and Title: \_\_\_\_\_

現住所 〒  
Present Address: \_\_\_\_\_

電話  
Telephone: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

日付  
Date: \_\_\_\_\_ 署名  
Signature: \_\_\_\_\_

# 留学にかかる経費負担計画書

## Financial Statement

### I. 学納金の支弁 (Tuition)

愛知大学大学院の学納金をどのような方法で支弁しますか？ あてはまる支弁方法に○をつけてください。(複数回答可)

また、それぞれの方法で全体の何%を支弁するののかも記入してください。

The way you will pay the school tuition (please choose one method from A. to D. and circle it. Also please fill in the blanks with the percentage of it.)

- A. 志願者本人が支弁 (\_\_\_\_%) paid by the applicant  
具体的に (specifically)  
貯金 (savings)    アルバイト (part-time job)    その他 (other) \_\_\_\_\_
- B. 本国からの送金によって支弁 (\_\_\_\_%) remittance by relative or guardian
- C. 志願者以外の日本に居住する者が支弁 (\_\_\_\_%) paid by an applicant's sponsor in Japan
- D. その他の方法によって支弁 (\_\_\_\_%) other (方法: \_\_\_\_\_)

### II. 生活費の支弁 (Living expenses)

①学納金以外の生活費は1ヵ月あたりおおよそどのくらいを予定していますか？ (複数回答可)

②また、それぞれの方法で全体の何%を支弁するののかも記入してください。

The way you will pay the living expenses (please choose one method from A. to D. and circle it. Also please put the appropriate percentage.) Multiple answers possible.

1ヵ月当り生活費 (Monthly amount) ¥ \_\_\_\_\_

- A. 志願者本人が支弁 (\_\_\_\_%) Paid by the applicant  
具体的に (Specifically)  
貯金 (savings)    アルバイト (part-time job)    その他 (other) \_\_\_\_\_
- B. 本国からの送金によって支弁 (\_\_\_\_%) remittance by relative or guardian
- C. 志願者以外の日本に居住する者が支弁 (\_\_\_\_%) paid by an applicant's sponsor in Japan
- D. その他の方法によって支弁 (\_\_\_\_%) other (方法: \_\_\_\_\_)

### III. 経費支弁者 (Details for person who pays the expenses.)

氏名

Full name: \_\_\_\_\_

現住所

Present address: \_\_\_\_\_

電話

Telephone: \_\_\_\_\_

職業 (詳細に)

Occupation (in detail): \_\_\_\_\_

本人との関係

Relationship to the applicant: \_\_\_\_\_

上記の通り相違ありません。

I hereby declare the above to be a true and correct statement to the best of my knowledge.

日付

Date: \_\_\_\_\_

志願者署名

Signature of applicant: \_\_\_\_\_

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| ※受験番号 | 9月    |  |
|       | 7・12月 |  |
|       | 2月    |  |

※印欄は記入不要  
Not to be filled out by applicant

# 推 薦 書

## LETTER OF RECOMMENDATION

日付 年 月 日  
Date: Year Month Day

愛知大学長 殿

To: The President of Aichi University

推薦者 署名  
Recommender Signature:

氏名  
Name (Block Letters):

所属機関  
Name of school or organization:

職 位  
Position or title:

現住所  
Present Address:

電話 (自宅)  
Home Telephone:

E-mail:

志願者氏名  
Applicant's full name:

1. 志願者との関係 (Relationship to the applicant)

2. 学業および職場における本人の実績、態度、意欲、資質の現状や将来性など、本人を評価する事柄について記入したうえで、厳封してください。

Please describe your impression/opinion of the applicant.